

第5回大月市教育委員会定例会 会議録

- ・ 開催日時 令和4年7月28日（木曜日）
午後1時30分から午後3時00分
- ・ 開催場所 市役所第2庁舎3階会議室
- ・ 出席委員 宇野誠教育長、鈴木英夫教育長職務代理者、野尻正人委員
白須康子委員、山崎亜由子委員、矢光重敏委員
- ・ 出席職員 奈良教育次長兼学校教育課長、坂本社会教育課長
上條こどもの学び支援担当リーダー
藤本学校づくり担当リーダー
- ・ 傍聴人 な し

〔会 議〕

1 開会

【教育長開会宣言】

2 会議録の承認

職員が、令和4年度第4回教育委員会定例会会議録を朗読し承認された。

3 教育委員会報告

教育長から、令和4年6月30日から令和4年7月28日までの教育委員会活動が報告された。

4 議事

議案第9号 就学指定学校変更・区域外就学について

（ 非公開 ）

〔説明〕 上條こどもの学び支援担当リーダー

【原案どおり決定】

議案第10号 成人式の名称について

〔説明〕 坂本社会教育課長

前回の教育委員会で式典名称について、「大月市二十歳の成人式」と「大月市二十歳の誓い」の2案を提案させていただきました。その中で事務局といたしましては、「成人式」という言葉を長年使用してきておりますし聞きなれた言葉ですので、式典の名称の中に「成人式」を入れたいということ、また、成年年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、本市の成人式対象年齢をこれまでどおり20歳と

していますので、式典を20歳に実施することがわかるという意味合いも含めて「大月市二十歳の成人式」を再提案させていただきます。

また、お手元にあります資料ですが、13市の直近の状況について調査をさせていただきました。二十歳のつどいが4市、二十歳を祝う会が2市、二十歳に集う会が1市、成人式が1市、二十歳の誓いが1市、二十歳の出発（たびだち）が1市、他3市は未定になっております。この名称をみる中で、本市といたしましては独自性を持たせたいという意味もあり他市にはない「大月市二十歳の成人式」を提案したいと思っておりますので、ご審議をお願いいたします。

宇野教育長

今、説明があったとおりですが、前回の教育委員会で新たな案がある場合は予め事務局に届けていただくということでしたが、それについては特にないということでしょうか。

坂本社会教育課長

新しい案は受けておりませんので、この2案の中でご審議いただけたらと思います。よろしくをお願いいたします。

宇野教育長

それでは、1案目「大月市二十歳の成人式」、2案目「大月市二十歳の誓い」の中から、本日どちらかに決定をしたいと思っておりますので、委員の皆様、ご意見をお願いいたします。

鈴木教育長職務代理者

名称は、この教育委員会定例会で決定するのですか。それとも、実行委員会もかわって決定していくのですか。

坂本社会教育課長

実行委員会で名称の検討をする予定はありません。実行委員会は、実際に運営にかかわることをやっていきます。

宇野教育長

ここで決定した名称を今後継続して使用していきますので、どちらかに決まれば、理由も含めて広報等で周知をしていく形になると思います。ぜひ、そのようなことも含めましてご意見をお願いいたします。

野尻委員

前回の教育委員会の後、何か参考になるものがないかと思いインターネットで調べてみました。私がインターネットで確認できた範囲の結果になりますが、成人式の名称について広く募集をしたところのごくわずかで、市の方からいくつか案を出して、それ以外で何かいい案があればお寄せくださいというものでした。結局、その市では自分たちが出した案以外に適切なものがなく、その中から1つに決めたようです。

また、成人式の集いを18歳にするのか20歳にするのかを保護者に問う調査を

しているところは複数あり、最終的には18歳ではなくて20歳に集いをするというものでした。理由は、18歳は高校生だからということが大きいようです。

あとは市の方から、このように名称を変更してやりたいというようなお知らせが多くありました。ですから、市の方からこういう思いがあるということで打ち出していくのがいいと、それを調べてみてわかりました。

全国を対象に調べた中で一番多かったのは二十歳の集いで46市町村、二十歳を祝う会が18市町村、あとは二十歳祭、二十歳の記念式典、二十歳の成人式、二十歳を祝う成人の集い、成人を祝う会等が少数。漢字とひらがなの違いはありましたけれど、圧倒的に「二十歳の集い」が多かったです。成人という言葉を使うのは少なかったのですが、それは、成人自体が18歳になったので20歳で使うのはいかなものかということがありました。

宇野教育長

丁寧に調べていただき参考になりました。18歳での成人式は高校生ですし、現実的ではないのかと思います。山梨県でも全部の市町村が20歳でやることになっていますが、18歳では大学受験や就職準備等で負担が大きいことが理由となっているようです。今調べていただいた中でも、市で決定するところがあるところがほとんどのようですし、この場で決定して、市長へ報告したいと思いますので、よろしく願いいたします。

山崎委員

前回の教育委員会でのご意見や今のお話を伺って、また、市の方で2案を提案した理由も聞かせていただいて考えましたが、「二十歳の成人式」でいいのではないかと思います。18歳で成人にはなりますが、18歳で式をするのは難しいですし、20歳でも成人式の前に「二十歳の」と付けているので、私は「大月市二十歳の成人式」でいいと思います。

矢光委員

先程のお話の中で、名称が決まったら理由も含め周知をするということでしたので、20歳にしていることも含め明確な理由を出していただければ、「大月市二十歳の成人式」で問題ないと思います。なぜこれにしたかという理由が公表できればそれでいいと思います。

白須委員

私も「二十歳の成人式」でいいと思います。同じ名称のところが少ないということも含め「大月市二十歳の成人式」に賛同いたします。

野尻委員

私は「二十歳の成人式」というのは違和感があって、あくまでも成人になるのは18歳という基本的なところがあるので、成人式を20歳に使うのはそぐわない気がします。ですからどちらかを選択ということであれば、「大月市二十歳の誓い」の方にしたいと思います。

鈴木教育長職務代理者

私は、20歳の成人というのは反対です。前回も申し上げたとおりで高校生であるとかそういうことは関係なく、政府で18歳が成人であるという扱いをしているのであれば、それをあえて20歳で成人式というのはいかかなものかと思います。そして、20歳で集まるということは、成人式と言っても誓いと言っても内容的に同じものであって、「二十歳の成人式」というよりも「二十歳の誓い」で十分ですし、むしろその方がニュアンスもいいと思います。そこに集まってくる若者たちが名称をどのように捉えるかという問題もありますから、そういうところに配慮する必要があると思います。

宇野教育長

ありがとうございました。ご意見を伺って「大月市二十歳の成人式」が3名、「大月市二十歳の誓い」が2名ということになりました。私も当然事務局の考えを聞いて、それに賛同していますので、「大月市二十歳の成人式」に手を挙げさせていただきま。一番の理由は18歳で成人式ができないということで、それを20歳でやるとなると、そこで成人式と言う言葉を使ってもいいのかなと思いましたが、その成人式と言う言葉は何十年も続いている言葉なので、これからもそれを長く使って、制度上残してもいいと思っています。

多数決という形になると失礼かとは思いますが、鈴木教育長職務代理者や野尻委員がおっしゃっていることもよくわかりますので、そのことは説明の中に反映していただいて、広報等で市民の皆様にはわかりやすく丁寧に説明するというので、「大月市二十歳の成人式」ということで決定させていただいてもよろしいでしょうか。

鈴木教育長職務代理者・野尻委員

はい。

【大月市二十歳の成人式に決定】

5 その他

(1) 大月市立小学校4校のコミュニティ・スクール化への取組について

〔説明〕宇野教育長

ご承知のとおり、本市では初狩小のみがコミュニティ・スクールとなっていますが、ほかの4小学校については、今後1年半の準備期間を経て令和6年度にコミュニティ・スクール導入を目指していきたいと考え、各校長先生方にはその旨伝えてあります。なお、中学校については、当面は、学区が広く「地域の学校」という認識が薄くなっていること、子供数が小学校ほど減少していないこと、部活動の地域移行など大きな課題の解決が直近の課題となっていること等を踏まえて、令和6年度のコミュニティ・スクール化は考えていません。

さて、教育委員の皆様には、この機会にコミュニティ・スクールとは何か、また本市小学校が導入する理由等をお伝えしたいと思います。

コミュニティ・スクールとは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に規定する保護者や地域住民等が、一定の権限と責任をもって学校運営に参画する仕組みである「学校運営協議会」を置く学校のことです。学校運営協議会は「学校運営の基本方針の承認」「学校運営に関する意見」「教職員の任用に関する意見」という3つの権限を一般的には有しています。大月市では、平成29年の改正

法により、教職員の任用に関する意見が柔軟化されたことを受けて、平成30年4月1日施行の「大月市学校運営協議会規則」では、学校運営協議会の3つの権限のうち、「教職員の任用に関する意見」は教職員の任命権者が県教委であって制度が本市にはなじまないため取り上げていません。国及び本市のコミュニティ・スクール導入に関わる主な経緯は資料をご覧ください。本市では、平成28年5月、初狩小にてコミュニティ・スクール導入のための「導入推進委員会」が開催され、2年間の準備を経て平成30年4月、本市初のコミュニティ・スクールとして発足、スタートしました。令和2年7月時点で山梨県内のコミュニティ・スクール設置率は18.7%、国は33.3%でありましたが、令和4年度中には県内で98校がコミュニティ・スクールになる予定です。設置率は39.8%になる見込みです。コミュニティ・スクールのメリット・魅力については資料をご覧ください。

次に、なぜ4小学校へのコミュニティ・スクールを導入するかについて説明します。コミュニティ・スクールは、学校や地域を取り巻く様々な課題を解決するためのプラットフォームになることを念頭にして課題の解決を図ります。本市の学校の今後の一番の課題は人口減少に伴う少子化により学校規模がますます小さくなり、児童の社会性の涵養やコミュニケーション能力の育成が難しくなっているということです。その意味でも、また地域を元気にするという意味でも「地域総がかり」で教育にあたる必要があります。地域の「信頼できる大人と関わる機会」を数多く作ることで社会性の涵養だけでなく、児童の自己肯定感や主体性・多様性・協働性を身に付けさせたいと思います。また、地域の魅力ある大人が地域を大切にしていって地域から「学ぶ姿」を子ども達に見せることによって、地域やふるさととは、自分たちで創るということを感じ取ってほしいと思います。「社会に開かれた教育課程」の実現は、現行学習指導要領の重要なポイントでもあります。その実現のためには、保護者や地域住民との情報や課題を共有し、学校を核として地域全体で共通の目標・ビジョンをもって取り組む「コミュニティ・スクール」の仕組みは不可欠のものとなります。また、本市は平成27年度末で学校の適正化を終えました。学校統合から7年が経過した今、地域の人たちに「おらが学校」という意識を少しでももってもらい、新たな学校の伝統を築く契機としたいと考えています。以上が導入の目的となります。

今後の4小学校のコミュニティ・スクール化に向けた準備については記載のとおりです。

なお、導入のための学校側の研修として、7月12日に次長からコミュニティ・スクールの概要の説明をするとともに、初狩小の導入のための2年間の準備期間に尽力した当時の学校長であり現在市教育支援センターの佐藤政道先生から、どういう心構えで、どういう内容を考えて、どういう組織を作ったかなど、講義をしていただきました。

また、今秋には、コミュニティ・スクールアドバイザー等、有識者に、コミュニティ・スクールに関する講演をいただいたり、令和5年度には、より地域との具体的な交流やさらなる準備推進のために、初狩小の教務主任や校長先生に実際的な部分について講話をいただいたりすることも考えています。教育委員の皆様にはこの件につきまして今後ともご指導、ご支援をいただきたくお願い申し上げます。

以上で説明を終わります。

【了知】

- (2) 令和4年度山梨県学力把握調査集計結果について
(非公開)
〔説明〕 奈良教育次長

【了知】

- (3) 令和4年度関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会の決議結果について
〔説明〕 奈良教育次長

本年5月27日付けで、委員各位の書面による決議照会があり、委員ごとの賛否につきまして、市の教育委員会を經由して連合会事務局に提出いたしました。

結果は、議案第1号から議案第6号まで、すべて原案のとおり承認となりましたので、報告いたします。

【了知】

- (4) その他

- ・ コミュニティ・スクールについて
鈴木教育長職務代理者

先程、教育長からコミュニティ・スクールについてお話がありましたが、私も先日、地域教育明日の風の講演を聞き、子ども同士が大勢で関わり、そしてそこに地域の大人達も加わって、関りを持てる人を増やしていく中で、色々な刺激を受け、お互いに影響しあいながら育っていくことが非常に重要であると思いましたので、コミュニティ・スクールについては、早急に進めていかなくてはならないという印象を持ちました。ぜひ、早くその方向に進めていただきたいと思います。

- ・ 古文書の保存について
鈴木教育長職務代理者

4月の教育委員会定例会でもお願いさせていただきました古文書等文化財の保存の件になります。

現在、資料館で大月市出身の方がお持ちの古文書をお預かりしてしまし、少しずつ整理を始めたところですが、地域の歴史は地域に残したいという思いがありますので、ぜひご協力ください。資料館長もまた広報に掲載したいとおっしゃっていましたが、委員の皆さんや教育委員会にお願いしたいことは、何か情報があったらご提供いただきたいということです。古文書を持っているというのはもちろんですが、家を取り壊すにあたって処分するものの中に貴重なものがあるかもしれません。先日も古文書を処分してしまったという例がまたありましたので、ぜひ教育委員会や資料館へご連絡いただき、貴重な資料を残していけるようにご協力いただきたいと思います。

- ・ 育成会や地域の伝統行事について
矢光委員

私の住んでいる地域では、地区ごとにあった育成会がほとんどなくなってしまっています。皆さんの地域はどうでしょうか。子どもが少なくなっているため、縮小

するなり合併するなりしていかなければならないというのはわかりますが、なくなってしまうというのはもったいないなと思っています。地域で子どもを育てるということにおいて、育成会はとても大きな役割を担っていたと思います。

それからもう一つ、それに伴って危惧しているのは、どんど焼きとか子ども神輿などの伝統行事がほとんどできない状態になっているので、そのへんのことをどうしていくのかということをも市全体で話し合う機会が持てないかと思っています。

奈良教育次長

おっしゃるとおり育成会という組織はほとんどなくなってきています。一方、どんど焼きなどの地域行事は、場所によってはまだやっているところもありますが、いずれにしても地域に子どもがいないというのが現状です。

鈴木教育長職務代理者

市長が本部長という形になりまして、青少年育成市民会議という団体があります。ボランティアの範囲になりますが、例えば今夏休みに、ラジオ体操の会をやったりちょっとしたイベントをしたり、市の方から出る補助金を分配し運営しています。

育成会という組織は、この10年くらいで各地区の子どもの数がどんどん減ってきてなくなりつつあります。夏休みも家族で出かけることが盛んになっていて、地域とのかかわりを避けるようなところも出てきてしまっています。だからこそ、地域とのかかわりも大事にするようにそれぞれの地域で考えていかなければならないと思いますが、残念ながら少子化とコロナの関係で色々な行事ができなくなっているのが現状です。ただ、夏休みのラジオ体操やどんど焼き等については、地域によって主体はわかりませんが、それぞれ活動しているところもあり、そういう活動を通して、子ども同士のつながり、地域とのつながりができるといいなと思っています。

また、伝統行事については、子ども神輿の話がありましたが、コロナ禍でここ何年かお祭りをしなくなってきていますし、神輿の担ぎ手になるような若者も減ってきていると思います。私自身も獅子舞のグループに入っていますが、もう無理かなと感じています。この3年間で地域の伝統行事が危機的なものになってしまい非常に残念なことですが、それが現状かなと思っています。

矢光委員

ちなみに、育成会はほとんどなくなってしまいましたが、エリアを広げて活動しようとした時に届け出や補助金等はどうなりますか。

奈良教育次長

個別の話になるかと思いますが、具体的な内容がわかりましたら、ご相談いただければいいかと思っています。ご希望にそえるかわかりませんが、よろしく願います。

- ・ 8月25日（木）午前10時00分から、令和4年度第6回教育委員会定例会を開催することを確認。

6 閉会

【教育長閉会宣言】